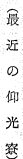


財団法人 駒場松桜会 東京都目黒区大橋 2-18-1
都立駒場高校仰光寮 TEL (466) 7579 振替口座東京2848

普・一 蓮沼彰良
人間はだれでも、大なり
小なりひとつの信念をもっ
ているそうである。私もこ
の三年間というものの常にか
つてきた信念を、
とに遭遇すると、すぐ
と妥協してしまう悪癖
を。それを克服したか
ため、このいかにも体
たの信念を持ちたいと
また私なりに努力して



この新聞、例年駒場の同窓会であるが、新しう卒業生である意味の一種の引き出しであることに、一般の同窓生に対して、普の平好に學園に戻つてい

杉村春雄

同窓生の皆さん、昨年度美術科それぞれ四名の募集集ことになりました。駒場には多分ありません。普通美術科は都立芸術高校として独立する事件を予想されます。これ

私は三年間、いたい何
 学びとり自分のものに

普・五
松本

普·四
圖

か定かでないが

駒場を卒業するに当り

が去るのか寂しいなど

な刺激を求めて外へ外へ

互いに駒場は生ぬるい

100

保体 石橋順子

独立して、体育高校とし

変喜ばしいことですが

抹の寂しさを感じない

母格がなくなつてしま
らです。そうなる、

何よりも大きな慰め

とは、素晴しいこととい

りひとりが、その礎石、

い。出さな
い。ねけ
に。は。い
せん。

に育ち、私達に今以上の

お便のかずかず

よそから転勤していらした方はきつとお淋しいでしょうね。今年は春に久しぶりに集りをもちたいと考えております。新しい方々も

十月二十二日大和七階の
スカイ、クラウンに不肖私
の幹事で集りました。福沢
柴野、平岩、南、川口、森
東、米山、二村、鈴木謙と

の秘訣を伺う組もあるし、いつもお元氣な鈴木様の愉快なテニス揚めぐりを伺ったり、若返りました。

関西在住の共は万博の
為公私共に忙し。一年で
三回の同窓会には相変らずに
重なる度に盛んに年々
三回の同窓会には先輩、後
輩、そして友人に接する機
会も無い。日を談笑は余
興と打闘する。昨秋、七
葉の甲陽園つるや、に七
年のあゆみ出版。本年新
年会に新装豪華ホテルす
たした地区で当番の熱心な
ごまき。地方に住居の
どうしてご連絡下さいませ。
18中 倉島日昭子

ばあ様とお見えになりました。いつもお元気な川口せん。様少こし肩をおなやみの由興々もお大切に、三時半頃又の再会を約し散会致しました。

山形大学々長としてご活

昨日は旧正月、今朝は今冬初めての雪を見ましたが午後から上気となりました。香川支部は年々少なくなり残るは西岡様、櫻村様、石井市とりの親善につくされた16中大脇様の敬身的な暮さに今治の河内様、田坂様

等、要職に就かれたり又
自身でも洋裁学院経営、
茶、お花、ピアノ、嵯峨
等を教えていらつる

等東海地方に大いに貢献
ていらつしやいます。又
方いつまでも向上心に燃
文化センター等で茶道、
道、日本文学、歴史、和
香道、嵯峨錦、コーラス
小笠流作法、ケーキ作り
容体操等に励む等優雅な
活を送っております。同

今年はプレオリムピック
の為例年より早い雪まつり
で、1度大通の雪像が出来
上った27日第一ホテルで司

お近くに同窓の方のお住
を発見して歓声があがり
又大先輩の第三魂のあふ
るきびき遊ばした動作

今年も一月二十九日に当
 鶴沼公民館の広間で新年会
 が開かれる事になっており
 是月、来月に一年かゝる、
 のお元氣さにあやかる、
 は二十年たつても安心と
 お声がり、五十になり
 は六十歳に近づくのを少
 センチにお考えの方々に



支 部

思いがけない解決法にな
大先輩は若い方とお話が
来て若返ったとおっしゃ
て一同喜び合いました。

の第三魂を大切な力とし
住みよい平和な社会を築
くための力を身につけたい

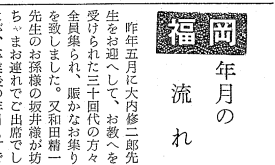
ホテルでの夏の例会に
川先生をお迎えして広
した青海原を眺めなが
夏の一日を心ゆくまで
に、合唱に楽しい時を

支 部

長野在住二十六年、私も
 どうかやら信州人のお仲間
 に入れてもらえようになり
 ました。よそののくせに
 N・H・Kのテレビ郷土料
 理に生れながらの信州人
 のような顔をしてちよいちよ



北 陸



て様結人 に是み坂欠智で同の

でする事に致しましたが越
智様、森棟様はお泊客で
欠席でしたが他の皆様と来

にぎやかにお話かはす
後私宅で一服、来年は
非今治でとそれを楽しみ
散会いたしました。

東山の名義清水は、丁度ご入洛中の久保
事様もご出席下さいまし
栗山様のお骨折で非公開
成就院庭園を拝見し緑を

先ず徳永八千代先生で逝
 去の悲しいお知らせを申上
 げます。一月十一日、急性
 肝炎の為八十一歳でなくな
 りました。

喫、山間そばの宝性院の
 間で昼食をとり欲談。参
 人観光客で賑う本堂や舞
 の懸造りも廻って帰途

料理でおなかをいっぱいにしてから34南山口様のお世話で、有志が真駒自衛隊内の雪像を見せて頂きました

目に青葉夏鷺のさえずる
東山の名刹清水寺にて十二
名・丁度入浴中の久保理
事・丁度ご出席下さいまし
なつて来たりした感じがな
く
栗山様のお席下り非公開の
成就院庭園を拝見し緑を満
ずるには思えてなりません

過ぎさせて頂きました。ご出席は24西吉見様、35西梁井様、ご主人転勤で長崎に来られた41北岡様と、33南武藤でした。12東亀井様はご内務務ち、9南井上様は

文会区と豊島区に住む同
郷先生・文藝最寄会が誕生
昭和三十三年四月に第一回の会
を開きました。一目で第三
の卒業生とわかる方々が続々と
お集まり下さって誠にときど
やかなるうちに松坡会理事長
昌川様からご挨拶があり、統
一歌壇を代表して、
ご多忙ながらお元気の由、
吉見様のお話となり、お優し
く支部のお交りして下さいさ
し、梁井井様とお家へ新築され
て、又友会の会でご酒席で、岡崎
氏は長女は東京の女子大学へ、
そのお嬢様は東洋の学校へ入
学され、42萬圓様が

いらつしやいます。福田道子様は母上様のあとをつがれて家裁の調停委員をされご多忙です。

33東 池部房子

真冬でも箱柱の立つ朝は
あまりない長崎は、スモッ
グもなく、晴れた日の青空
の美しさは素晴らしい
ます。

昨年五月、34東平山様か

岡 お茶と
静 編物で

お茶と福物のお稽古に毎週四、五人が集つておりまして、い午後を過してあります。これが小さな同窓会のようなつて昨年はとうとう二回しか支部のお集りを致しませんでした、醜陋でない方々には申しわけなく存じておきます。

ご転任で静岡を去られる方が続く一方、新しくお出でになる方がなく、当支部も大へん淋しくなりました。3月中高様も昨年四月亡くなられ、ご冥福をお祈り致します。

41中 鈴木君子